

# 二次検査 補助金申請書 40歳以上用

- ・二次検査 補助金申請の手順は、本紙2ページ目をご覧ください。
- ・40歳以上は、生活習慣病予防健診項目に対する二次検査を補助の対象とする補助金について「二次検査費用補助の対象者基準表 40歳以上対象」をご覧ください。

記入例

下記のとおり二次（精密）検査の補助金を申請します。 2023年 6月 20日 被保険者氏名 兼松 太郎	事業所欄 事業所名称 株式会社 ○○○○ 保険事務担当者氏名 ○○○○○○ 事業所欄には、事業所名と保険事務担当者氏名をご記入下さい。事業主印は必要ございません。
--	--

※ 2024年3月31日時点での年齢をご記入ください。

受診者	健康保険証 記号一番号	氏名	本人	年齢※	日中連絡の取れる電話番号
	234 - 546	兼松 花子	家族	47	○○○-○○○○-○○○○
	健診を受診した日と健診機関名		二次検査日と医療機関（予定可）		
	2023年 5月 10日 契約 一般	○○○○健診センター	2023年 6月 16日 契約 一般	△△クリニック	

二次検査の補助金を希望する項目の(A)欄に、✓を入れてください。

(A)	生活習慣病予防健診項目と内容	(A)	生活習慣病予防健診項目と内容
	医師診察 一般診察・問診		超音波検査 胆のう・肝臓・腎臓・膵臓・脾臓
	聴力 聴力		上部消化器 胃部レントゲン検査（直接）または胃部内視鏡検査
✓	血圧測定 最高血圧・最低血圧		下部消化器 便潜血検査（2日法）
	尿検査 蛋白・糖・潜血・沈渣・ウロビリノーゲン		血液検査 赤血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット・血小板・白血球
	呼吸器 胸部レントゲン検査		糖尿病 空腹時血糖・HbA1c
	循環器 心電図（安静時）		肝機能 AST (GOT)・ALT (GPT)・γ-GTP
	脂質 中性脂肪・LDLコレステロール		肝機能 総蛋白・総ビリルビン・ALB・LDH・ALP
	膵機能 アミラーゼ		腎機能 尿素窒素・クレアチニン・(e-GFR)
	痛風 尿酸	✓	

該当する方の□に✓を入れてください。

(1)	前年度に二次検査の補助金を受けましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
(2)	(1)で「はい」の場合、前年度に二次検査の補助金を受けた項目と、今回申請する項目は同じですか。	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
(3)	二次検査を受ける前に(A)の✓に関する治療（通院・服薬・経過観察等）を受けていましたか。	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

提出書類は下記のとおりです。ご提出前にご確認頂き、□に✓を入れてください。

- 二次検査 補助金申請書 40歳以上用（本紙）  健診結果（コピー可）

健保 記入欄	旧No. なし	申請なし	項目OK	歴OK	健診番号
-----------	---------	------	------	-----	------

## 二次検査 補助金申請の手順

- ① 二次検査費用補助の対象\*かご確認のうえ、本紙「二次検査 補助金申請書 40歳以上用」に**健康診断結果のコピー**（氏名と二次検査指示と該当検査項目が分かる箇所の部分コピー可）を添付し、二次検査項目や検査日が複数あった場合でも、1人1回にまとめて、事業所のご担当部署経由でご提出下さい。二次検査終了後でも申請可能です。  
※この時点では、二次検査の領収書・診療明細書は添付しないで下さい。
- ② 後日、兼松連合健康保険組合から二次検査・補助金請求書を事業所にお送りします。
- ③ **二次検査・補助金請求書**に必要事項を記入し、**領収書（必須・コピー可）と診療明細書（必須・コピー可）と二次検査結果表（コピー可）**を添付し、事業所のご担当部署経由で兼松連合健康保険組合にご提出下さい。検査結果表の添付は必須ではありません。検査結果等の文書料がかかった場合は、文書料は補助の対象外となりますのでご注意ください。
- ④ 補助費用のお支払いは、事業所経由となります。

\*二次検査費用補助の対象確認は、兼松連合健康保険組合ホームページ「二次検査に対する補助金について」  
「二次検査費用補助の対象者基準表 40歳以上対象」をご覧ください。